

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

492

今福霊園管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	4	斎場、今福霊園の適切な改修、整備

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		墓地費	
	大事業		墓地事業	
中事業		今福霊園管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	
事業実施の根拠法令	和歌山市営墓地条例及び同条例施行規則		関連課	
			担当課・担当課長・Tel	保険総務課 辻野 しのぶ 435-1069

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
事業目的	墓地使用者に永代使用権を与えていることから、今福霊園の維持管理を継続して行う。		今福霊園の維持管理運営事業 面積 38.298㎡		
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
	墓地使用権承継等の手続き 墓地区画の新規貸出 墓地内の維持管理・整備等 墓地使用料及び管理料の請求及び収納	墓地使用権承継等の手続き 墓地区画の新規貸出 墓地内の整備	墓地使用権承継等の手続き 墓地区画の新規貸出 墓地内の整備	墓地使用権承継等の手続き 墓地区画の新規貸出 墓地内の整備	墓地使用権承継等の手続き 墓地区画の新規貸出 墓地内の整備

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	34,932	31,203	34,169	29,511	32,918	30,545	33,265	0	33,265	0
伸び率(%)	△16.9%	△1.2%	△2.2%	△5.4%	△3.7%	3.5%	1.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,437	12,404	10,351	5,255	5,508	5,818	5,896	0	5,896
	正規職員以外	1,095	2,190	2,081	2,123	2,182	2,203	2,203	0	2,203
	小計	12,532	14,594	12,432	7,378	7,690	8,021	8,099	0	8,099
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	25,650	4,500	26,100	18,000	26,100	19,125	26,550	0	26,550	0
一般財源(税等)	9,282	26,703	8,069	11,511	6,818	11,420	6,715	0	6,715	0
所要人数(人)	正規職員	1.42	1.54	1.30	0.66	0.71	0.75	0.76	0.00	0.76
	正規職員以外	0.48	0.96	0.96	1.00	0.99	0.96	0.96	0.00	0.96
主な予算内訳	業務委託料 23,233千円		管理委託料 5,325千円							

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
各種手続き等にかかる周知回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
承継等の申請受理件数		件	目標値					
			実績値	218	191	193		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	委託事業者との協議を行うことでより良いサービスを提供できる余地がある。
見直し・改善内容	墓地使用者の多様なニーズに対し柔軟な対応を実施する。